学校番号	T3017

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）工業実習Ｃ	単位数	３単位	年次	３年次（３年制） ４年次（４年制）
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

機械
・機械について前年次の基礎知識を利用して応用的な課題、実習を中心に学びます。
電気
・電気について前年次の基礎知識を利用して応用的な課題、実習を中心に学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
各分野に沿った知識技術を実習とレポート作成に反映することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
実習とレポートの取り組み方について工業の知識を身につけることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
各分野の製造（作成）方法について仕様書等から情報を読み取る力を身につけることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各分野について、基礎的な概念や知識を理解し、仕様書を読み取ったり、自分で記述したりすることができる力と知識・技術を身につけている。	各分野について、求められた結果を得るにはどうすればよいか、適切に取り組むことができる。	各分野について、レポートや成果物に工業の規定に沿った観点を踏まえ、自ら行動することができる力を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	機械	1.機械実習における基礎、基本、応用 2.工具の使用方法 3.材料の取り扱い	a:機械に関する設計図や記号、記述方法など規格に応じた使用方法について理解できる。 b:機械実習に対して仕様書を吟味し、試行錯誤することができる。 c:機械に関する取り決め、規格の決定などを知り、それらを用いた表現方法、使用目的について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	・実習への取り組み ・実習レポート	・実習への取り組み ・実習レポート	・実習への取り組み ・作品の完成度
後期	電気	1. 電気図面の読み取り方 2. 工具の使用用法 3. 材料の取り扱い	a: 電気図面の用途に応じた考え方を法令や法則に則り、論理的にかつ端的に実習を行うことができる。 b: 電気図面に対してそのあり方について吟味し、試行錯誤することにより、規定に則った施工を行うことができる。 c: 電気における特性と安全性について踏まえた上で実習に取り組むことができる。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度